

【まちづくりの基本目標】 1 交通基盤の充実と人が集うまちづくり

【まちづくりの基本方向】 1-5 中心市街地のにぎわい創出

【計画目標】

- ①米子駅周辺エリアのにぎわいの創出を図ります。
- ②角盤町エリアのにぎわいの創出を図ります。
- ③「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を目指します。

【現状と課題】

本市の中心市街地は、長い歴史のなかで行政、経済、文化、教育、医療、福祉、娯楽等、様々な都市機能が高度に集積されるとともに、道路、鉄道等の交通網も中心市街地を起点に整備され、地域における社会経済活動や文化・市民活動等の中心としての役割を果たしてきました。しかしながら、宅地開発による市街地の拡散や車社会の進展などによる商業施設の郊外立地、消費行動の変化などにより、居住人口の減少や空き店舗の増加など中心市街地の空洞化が進んでいます。

中心市街地のにぎわいを取り戻すためには、これまでの中心市街地活性化の取組はもとより、まちなかの魅力を高め、誰もが歩きたくなるという視点で官民が連携してまちづくりを進める必要があります。

【主な取組】

- ①米子駅周辺エリアの活性化
 - ・米子駅周辺エリアのまちづくりの推進
 - ・空き店舗への新規出店者に対する支援
- ②角盤町エリアの活性化
 - ・空き店舗への新規出店者に対する支援
 - ・地ビールフェスタ、マルシェ等イベント開催への支援
- ③「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成
 - ・ウォーカブル推進都市の検討
 - ・「中海・錦海かわまち計画」に基づくまちづくりの推進

【関連計画】

米子市中心市街地活性化基本計画

※ウォーカブル推進都市：まちなかを車中心からひと中心の空間へと転換し、人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる場へと改変する取組

【まちづくりの基本目標】 2 市民が主役・共生のまちづくり

【まちづくりの基本方向】 2-6 男女共同参画社会の形成

【計画目標】

- ①男女共同参画の視点に立った啓発を行い、意識改革を推進します。
- ②男女共同参画社会形成のための環境づくりにより、女性の活躍を推進します。

【現状と課題】

男女共同参画社会の実現に向け、本市では米子市男女共同参画推進条例のもと、啓発活動をはじめとした様々な施策を推進してきました。

しかし、性別による固定的な役割分担意識や男女の不平等感、家庭、職場、地域などあらゆる場面において、依然として根強く残っています。DVなどの様々な形態での人権侵害も存在している中、解決すべき課題は少なくありません。

性別に関わりなくすべての人が自分らしく生きることのできる社会づくりを進めていくために、**多様性を認め合い、受け入れ合うダイバーシティの理念のもと**、市民や事業者、関係団体などと協働し、様々な社会制度・慣行について、男女共同参画の視点に立って見直す必要があります。

そして、男女が社会の対等な構成員として共同して参画し、地域社会を活力あるものにするために、今後も引き続き、自らの意思をもって女性があらゆる分野で活躍できる環境を整えることも重要です。

【主な取組】

- ①男女共同参画の意識啓発
 - ・男女共同参画に関する各種講座などの開催
 - ・男女共同参画センターを拠点とした啓発活動等の推進
- ②男女共同参画社会形成のための環境づくりの推進
 - ・市の審議会などでの女性委員の登用促進
 - ・ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
 - ・女性の再就職やスキルアップへの支援
 - ・DV被害者などの支援体制の充実と暴力のない社会に向けた啓発の推進

数 値 目 標	審議会等委員に占める女性の割合	
	現状値（H30.4.1 時点）	目標値（R6）
	28.0%	40.0%

【関連計画】

第3次米子市男女共同参画推進計画

【まちづくりの基本方向】 2-10 Society5.0 の実現に向けた技術の活用

【計画目標】

- ①市民サービス向上を図るため、AI を活用したサービスを提供します。
- ②~~オープンデータ、地理空間情報施策を推進します。~~
市が保有する統計的な情報や電子地図情報などの提供サービスを推進します。

【現状と課題】

国は、Society 5.0 で実現する社会として、IoT（Internet of Things）で全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出そうとしています。また、AI を活用することで必要な情報が必要な時に提供されるようになり、ロボットや自動走行車等の技術で、少子高齢化、地方の過疎化などの課題が克服され、社会の変革（イノベーション）を通じて、これまでの閉塞感を打破し、希望の持てる社会、世代を超えて互いに尊重し合あえる社会、一人一人が快適で活躍できる社会をめざすとしています。

本市においても、事務の効率化や市民サービス向上の観点から、IoT の有効活用を進めて、あらゆる世代にとって安全で使いやすいサービスを提供することが求められています。

【主な取組】

①AI を活用したサービスの提供

数 値 目 標	AI チャットボットへの年間問い合わせ件数	
	現状値（H30）	目標値（R6）
	—	1,000 件

②~~オープンデータ、地理空間情報施策の推進~~

市が保有する統計的な情報や電子地図情報の提供サービスの推進

数 値 目 標	オープンデータ、地理空間情報の公開数 市が保有する統計的な情報や電子地図情報の公開数	
	現状値（H30）	目標値（R6）
	7	11

【関連計画】

米子市情報化基本計画

※Society5.0：IoT（Internet of Things：モノのインターネット）やAI（Artificial Intelligence：人工知能）などの最新テクノロジーを活用した便利な社会。最終的には少子高齢化・地域格差・貧富の差などの課題を解決し、一人ひとりが快適に暮らせる社会を実現することが「Society 5.0」の真の目的となる。

※AI チャットボット：人間が入力するテキストや音声に対して、自動的に回答を行うことで、これまで人間が対応していた「お問い合わせ対応」「注文対応」などの作業を代行するプログラム。

【まちづくりの基本目標】 4 地産外商・所得向上のまちづくり

【まちづくりの基本方向】 4-1 中小企業振興条例による地元企業の振興と地域産業の活性化

【計画目標】

- ①地元企業の国内外の需要の変化を捉えた新たな市場の開拓への支援を行います。
- ②地元企業の競争力強化・新事業展開の促進、新規創業に向けた支援を行います。

【現状と課題】

本市の地域の雇用・経済を支える民間事業所の多くは中小企業ですが、経済活動のグローバル化、少子高齢化の急速な進行により経済的・社会的環境が大きく変化するなか、その多くは、経営資金の調達、人材の確保、新たな設備投資、販路の拡大などの様々な領域において厳しい状況に置かれています。

本市の持続的な経済発展のためには、地域経済の要である中小企業の振興を積極的に図る必要があります。このため、中小企業の経営基盤の強化や、国内外の需要の変化を捉えた新たな市場の開拓など、成長できる環境づくりに地域社会全体で連携・協働して取り組んでいきます。

【主な取組】

- ①国内外の需要の変化を捉えた新たな市場の開拓
 - ・海外展開を含む地産外商の促進
 - ・中海・宍道湖・大山圏域市長会で実施するビジネスマッチング商談会の実施

数 値 目 標	ビジネスマッチング商談会新規エントリー企業数	
	現状値（H30）	目標値（R6）
	－	100 企業 ※R2～R6 の累計

- ②中小企業者等の競争力強化及び新規創業、新事業展開への支援
 - ・中小企業の生産性向上に係る取組への支援
 - ・新規創業、新事業展開への支援
 - ・関係機関と連携した事業承継に係る支援

数 値 目 標	本市での年間新規創業件数	
	現状値（H30）	目標値（R6）
	36 件	60 件